



# THE INTERNATIONAL FOCUSING INSTITUTE

*Building on the work of Eugene T. Gendlin since 1979*

多様性 diversity ・ 公平性 equity ・ 包摂性 inclusion に関する声明

2022年12月、理事会により承認

この声明は、メンバーからの意見も取り入れて、国際フォーカシング研究所 (TIFI) の理事会によって書かれた。この声明は TIFI の管理体制と運営全体に関わるものであることを意図している。これはメンバーを束縛するものではないが、理事会としてはコミュニティのすべてのメンバーがこの声明の精神に加わることを願っている。

フォーカシングにとって、すべての人を個々の人間存在として尊重することは本質的なことである。体験的傾聴の核心は、憶測や予断を可能な限り脇にどけ、人をその人自身として尊重するところにある。人はそれぞれ、自分のさまざまなアイデンティティや状況やコミュニティの影響を受けるが、それらによって定義されることはない。歴史上、今日まで、多くの集団や個人が差別を受けてきた。重大な差別には、性的志向やジェンダー、年齢、人種や民族、出身国、経済状況やカースト、宗教や信念、外見、精神的な能力や障害などにもとづくものがある。私たちは皆、ある集団を別の集団よりも上に見る偏見を免れられないと、私たちは認識している。それゆえ私たちは、私たちの個人的および集団的先入観に常により意識的であろうと努力する。

TIFI は国際的な非営利団体であり、そのメンバーは 50 カ国以上にわたる。私たちは国際的な、豊かな多様性を持つ。私たちはなお一層、多様で、公平で、包摂的であることを志向しており、また運営や管理体制やプログラム策定をすべての人々に常にひらかれたものとしたいと望んでいる。人間の多様性の広がりや尊重しない硬直した社会構造は、私たちの取り組みの対極にある。

私たちの以下のような点に努力する。

- 多様性・公平性・包摂性を、進行するプロセスと捉えること。その時々やふさわしいであろうものにオープンでありつづけ、新しい理解が生じる際には努力を新たにすること
- 私たちが多様、公平、包摂的であることができなかったという場合は、その失敗に直面して生じる不快感にしっかりとどまること

- 何であれ緊張が生じた場合には、フォーカシングや TAE という私たちの方法を使って、共感的な compassionate やり方でその緊張を乗り越えていくこと
- 多様性・公平性・包摂性は、「フォーカシングを生きたものにしつづけ、すべての人に利用可能なものとする」という私たちの使命につながっていると捉えること
- 参加機会の少ない集団 underrepresented constituents の必要を満たすような機会の提供を意図的に拡大すること
- 低所得の人や障害を持つ人が参加しやすくなるように障壁を減らすこと
- 偏見や当然とされている思い込みや習慣——そこから非歓迎的で安全感のない空間が作られかねない——に、より意識的になることを学ぶこと